

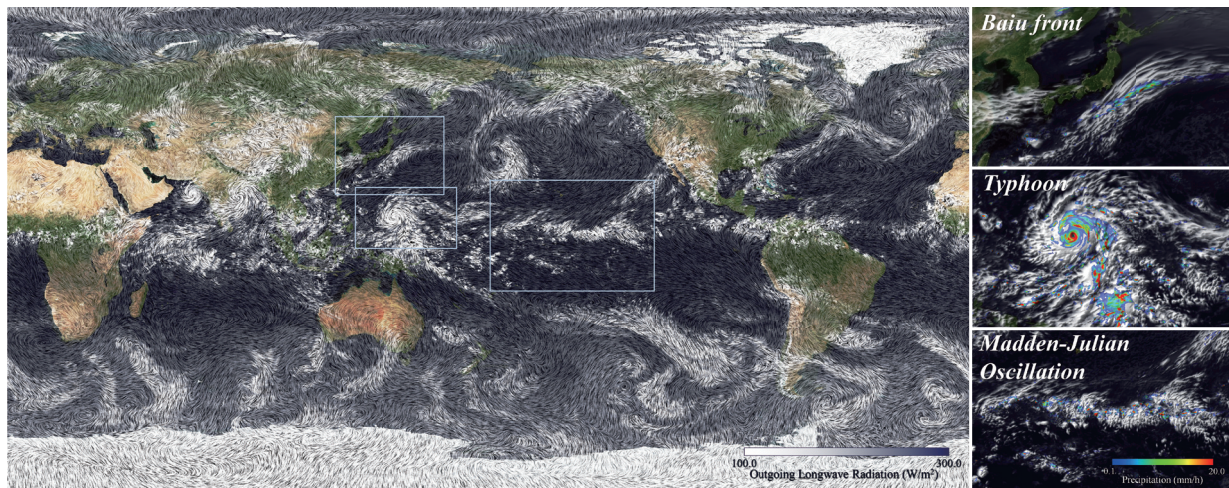
課題：全球雲解像モデルを用いた大気海洋結合系シームレス予測のための基盤的研究

課題責任者：大内 和良（海洋研究開発機構 シームレス環境予測分野）

課題目的：

全球の雲・降水現象の将来予測や季節内から季節規模の予測の精度向上は、シームレス予測として気候と天気を統合的に扱う次世代モデル研究開発の重要課題とされている。本研究の目的は、これまで雲を直接計算する発想のもとで雲・降水現象のスケール間相互作用の表現や大気モデリング精度を格段に向上させた全球雲解像モデルを海洋モデルと結合させることで、世界初とな

る雲対流プロセス解像型の季節内・季節予測（シームレス予測）を実現するためのモデル基盤を構築することである。同時に、構築した基盤を熱帯予測に役立て情報を創出するための予測技術や情報創生技術（可視化等）の検討や開発も行い、熱帯予測システムの設計や課題検討も行う。



今年度得られた成果：

今年度は、大気海洋結合系検討および開発のための計算に関して、大気海洋結合系構築に必要な要素モデル（大気、海洋、カップラー）の調整を経て、力学的な結合作業を行った。ES2 でのジョブスクリプト等の調整も経て、試験的な結合計算1ヶ月分を完了させた。

